【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【公開番号】特開2015-216069(P2015-216069A)
【公開日】平成27年12月3日(2015.12.3)
【年通号数】公開・登録公報2015-075
【出願番号】特願2014-99495(P2014-99495)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　2/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/12　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　2/02　Ｂ
Ｈ０１Ｍ　10/12　Ｚ
Ｈ０１Ｍ　10/06　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成28年10月19日(2016.10.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
発電要素と、
前記発電要素を収容する電槽と、を備え、
前記電槽の外壁は、
前記電槽内における前記発電要素の収容領域を規定する第１壁部と、
前記第１壁部よりも前記発電要素から離れて配置された壁部を形成するための屈曲部と、を有し、
前記屈曲部を、前記第１壁部の内面を内側に超えない範囲にて厚くすることにより、前記第１壁部より厚肉の厚肉部とした鉛蓄電池。
【請求項２】
請求項１に記載の鉛蓄電池であって、
前記外壁は、
前記第１壁部と屈曲して接続され、前記第１壁部に対して外側に向かって傾斜した傾斜部と、
前記傾斜部と屈曲して接続され、前記第１壁部よりも前記発電要素から離れて配置された第２壁部と、をさらに有し、
前記第１壁部と前記第２壁部とは、撓み量が異なっており、
前記第１壁部と前記第２壁部のうち前記撓み量が大きな壁部と前記傾斜部との間の屈曲部が、前記厚肉部である鉛蓄電池。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の鉛蓄電池であって、
前記発電要素は、セパレータを介して正極板と負極板とを交互に積層配置した極板群であり、
前記第１壁部は、前記発電要素の収容領域のうち、前記極板群の積層方向と交差する方向の大きさを規定する鉛蓄電池。

【請求項４】
請求項１ないし請求項３のいずれか一項に記載の鉛蓄電池であって、
前記電槽内には、流動可能な電解液が収容されている鉛蓄電池。